駒澤大学1－0早稲田大学

２位・早大相手に、堅守でつかんだ勝ち点３

5戦ぶりの勝利を手にし、沸き返る駒大（撮影：河田奈津子）

10 月 23 日 13:50　早稲田大学東伏見サッカー場

駒大（10 位）	1	（0－0）（1－0）	0	早大（4 位）

得点者（ｱｼｽﾄ）

[駒]52 分林堂

KOMAZAWA	WASEDA
GK㉒檜山昇吾(2)	GK⑯阿部雄太(2)
DF②砂川太志(4)	(11 分①赤堀勇太(4))
DF③三宅　徹 (4)	DF⑰三竿雄斗(2)
DF④林堂　眞 (4)	DF⑫山地　翔 (3)
DF⑮三澤祥馬(3)	DF④畑尾大翔 (3)
MF⑳江川昇吾(4)	DF③菅井順平(3)
MF⑦碓井鉄平(2)	MF⑤島田　譲(3)
(81 分⑭板倉直紀(1))	MF㉖近藤洋史(1)
MF⑧奥村　情(3)	MF⑩奥井　諒(4)
MF⑥濱田　宙(4)	MF⑭白井　豪(3)
FW⑩大園祥太(4)	(60 分⑧近藤貴司(1))
(59 分⑫山本大貴(2))	FW⑨富山貴光(3)
FW⑪湯澤洋介(3)	FW⑪小井土翔(4)
(82 分渡邉　諒(4))	S　U　B
S　U　B	DF㉓福田勝也(3)
GK①松浦和己(4)	DF㊲川島　拓(4)
DF㉙大木　暁 (1)	DF⑬野村良平(3)
MF㉝川岸裕輔(1)	FW⑲佐々木絢也(4)
MF⑲小牧成亘(1)	FW⑮榎本大希(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	古賀　聡

[ｼｭｰﾄ]8:11 [GK]15:11 [CK]2:4 [直接 FK]15:30
[間接 FK]2:2 [主審]金井清一 [観衆]約 250 人

警告(C)／退場(S)

[駒]大園祥太(C)
[駒]砂川大志(C)
[早]近藤洋史(C)
[駒]奥村　情 (C)
[駒]山本大貴(C)

※データの左側が駒大

５試合ぶり勝利！
長いトンネル抜け出す

前節の逆転負けで、ついに降格圏へと足を踏み入れてしまった駒大。気持ちを切り替えて臨んだ一戦は、守備陣が健闘し、久々の勝利となった。

前半は我慢の時間帯が続いた。早大がボールを回し、駒大がプレスをかける展開。なかなかシュートまでいけなかったが、対する早大もディフェンスラインでボールを回す時間が多く、決定的チャンスを作ることが出来ない。互いに決定機を生み出せないまま前半が終了。駒大はシュート１本に終わったが、試合後「守備から入ろうという意識があった」（林堂主将）と話したように、無失点は狙い通りの展開でもあった。

後半に入ると、ワンチャンスを生かした駒大が先制する。52 分、ゴール正面約 25mの位置で得たフリーキック。林堂が放ったシュートは、ドライブ回転が掛かり、見事ゴール右隅へ。林堂の、公式戦初だという直接フリーキックで１点をもぎ取った。

しかしその後、早大は左サイドからチャンスを作っていく。

対する駒大も、カウンターから攻め応戦すると、63 分には、碓井の浮き球スルーパスに抜け出した、途中出場の山本が、ペナルティエリア内右からシュートを打つも、わずかに左へ。決定的なシーンだったが追加点を挙げることはできず。

その後は、早大がボールをつなぎチャンスを覗うが、「粘り強くを合言葉のようにしていた」（秋田浩一監督）駒大のディフェンスラインは、常に集中力を保っていた。クロスに対しても、高い打点で競り勝ち、シュートを許さず、最後まで決定機を作らせないと、そのまま試合は終了。リーグ最少失点・早大のお株を奪う堅い守りで、勝利を手にした。

これで順位を一つ上げ 10 位。降格圏は脱したものの、まだまだ厳しい戦いは続く。上位進出のためにも、一つずつ勝っていくしかない。早大戦はベンチ・応援が一体となって総力戦で制した。雰囲気はよくなり、選手の意識も高まっているはずだ。この一勝をきっかけに上昇気流に乗れるか。

（森下和貴）